User Interview

ユーザー インタビュー

山口県・防府市

ソルト総合会計事務所

山口県の中南部に位置する防府市。人口約11万人と、典型的な中都市であるこの街の税務・会計業界に新風を吹き込んでいるのが、ソルト総合会計事務所だ。業務をクラウド化し、WEB集客に力を注ぐといった先進的な取り組みを行いながら、必要なときはすぐ顧客のもとへ駆けつける誠実な姿勢が評価され、着々と業績を伸ばしている。代表の山本将之先生によれば、躍進を支えているのがビズアップ総研のWEBセミナー「e-JINZAI」と日本ビズアップの経営総合支援サービス「発展経営情報」という。いったいどのように活用しているのか、今までの歩みを含め、詳しく話を聞いた。

「地方だからこそ、情報収集が重要！」と e-JINZAI・発展経営情報の導入を即決。

スタッフ全員で共有することで

事務所全体のレベルアップが加速!

経営者の持ち味を引き出す「塩」として、地元の中小企業のベストパートナーをめざす

――山本先生は高専の出身でいらっしゃいます。当時は公認会計士や税理士を目指していたわけではなかったのですか？

はい、高専のときはシステムエンジニアを目指していました。ところが、あるとき会計システムを構築する演習を受けて、「会計の知識がないとシステムがつくれない」ということに気付いたのです。ならば、と会計の勉強をはじめたら面白くなってしまいまして（笑）。「どうやって日本経済が回っているのか」など、それまでまったく関心がなかったことにも興味を持つようになり、会計を専門としていきたいと思うようになりました。公認会計士試験に合格したのは23歳のときです。

――公認会計士になってから、4大監査法人の一角に就職されていますね。独立開業しようと思われた理由は何でしょうか。

監査法人では主に金融機関の監査を担当していました。必然的に、さまざまな業種や企業を見る機会が増えまして、中小企業を応援したいという気持ちが強くなってきたのです。せっかくならば地元に貢献したいと思い、32歳のときに開業しました。

――ユニークな屋号ですが、由来について教えてください。

2つあります。1つは、文字どおり英語の「塩」です。どんなに素晴らしい食材でも、料理のおいしさを決めるのは塩ですよね。食材本来の味わいを引き出すように、経営者の方々の持ち味を存分に活かせるパートナーでありたいとの思いを込めました。これは、「経営者のベストパートナーになる」という経営理念にもつながっています。

もう1つは、事務所の所在地でもあり、私の出身地でもある防府への思いを込めました。防府は、江戸時代中期から昭和30年代まで、約260年にわたって日本の塩業を支えてきました。そこで培われた知恵や苦労を大切にして、地域に根ざした事務所を運営していきたいと考えています。

親身かつ丁寧な対応を行うため、顧客とのコミュニケーションを重視 ITツールを積極的に導入し、業務効率化にも熱心に取り組む

――「経営者のベストパートナーになる」を経営理念に掲げているとのことですが、具体的にはどのようなスタンスで顧客と接しているのでしょうか。

お客様が望むサービスを提供する、というのが基本的なスタンスです。そのため、コミュニケーションは非常に重視しています。

――最近は、顧客とあまり顔を合わせることなく、メールや電話がやりとりの中心となっている事務所も多くなっていますが、ソルト総合会計事務所はそうではないのですね。

私たちは、必ずお会いするようにしています。しっかりヒアリングを行い、お悩みを聞き出して解決策をご提案するプロセスは大切にしていますね。フットワー

クはかなり軽いほうだと思います。もちろん、いきなり経営の根幹に関わるご相談を望まないお客様もいますので、ニーズに合わせて記帳代行から始まり、自計化の支援、経営計画の策定や予算実績管理に移行していくケースもあります。ご相談してもらいやすいように、顧問契約しなくてもできるセカンドオピニオンサービスもご用意しています。あとは、監査法人で金融機関の監査を担当していた経験を活かし、法人のお客様向けに「格付け診断」を実施しているのが弊所ならではの特徴でしょうか。年に1回、決算時に提供しています。

――顧客目線に立って親身に取り組んでいらっしゃるのが伝わってきます。スタッフは何名なのですか？

私のほかに、総務と広報を担当する妻を含めて女性スタッフが4名います。平均年齢は30代と若いのですが、妻以外の3名は全員会計事務所で10年以上勤務した経験がありまして、会計・税務に関する足腰が強く、非常に助かっています。ITなど新しいことにも積極的に取り組んでくれるので、本当に恵まれていますね。

――ITを積極的に活用しているということは、業務効率化を図る取り組みも？

さまざまなITツールを導入して、効率化を図っています。たとえばお客様のカルテはクラウド化し、外出先で私がお客様と対話した内容もすべて記録して全員で共有できる仕組みにしています。また、お客様との連絡にはチャットツールを活用しているのですが、スタッフ間の業務連絡にも同じものを活用することで、常に誰かがスタンバイしている状態です。お客様がチャットに入ってくる場合は、必ず誰かがすぐ返答できるので、スピーディな対応が実現できています。

「e-JINZAI」は新人から幹部クラスまで学べて情報量豊富
「発展経営情報」はいち早く掲載される税務改正情報が魅力

――スタッフの皆さんが非常に頼もしい印象ですが、導入いただいているWEBセミナー「e-JINZAI」はどのように活用されているのでしょうか。

そもそも、「e-JINZAI」を導入したのは、私たちが田舎にいるからなのです。田舎にいると、すぐ情報不足に陥ってしまいます。「e-JINZAI」は、よくある新人向けに特化したセミナーではなく、中堅からベテラン、所長などの幹部クラスまですべての階層が学べて、とにかく多くの情報が取得できるのが魅力でした。ですから、最初に見た瞬間、導入を即決したのです。

――ありがとうございます。では、スタッフのみなさんで受講されているのですね。

はい。むしろ、全員受講することで効果がさらに上がるのではないでしょうか。税務情報のアップデートや、組織運営に関する知見を高めるなど、それぞれがどんどんインプットしていく中で、日常業務で何か気になることがあれば「改善シート」に記入してもらっています。全員が動画を見ているので、「これはうちの事務所に取り入れたほうがいいのでは」という意見が出たとき、すぐに全員が内容を理解できます。もともと、うちのスタッフは全員が主体的で改善案もバンバン出してくれるのですが、「e-JINZAI」を受講することでさらに持ち味を発揮してくれていますね。

――経営総合支援サービス「発展経営情報」も導入いただいていますが、どのように活用されていますか。

「e-JINZAI」と同様、情報収集に活用しています。税制改正の情報がいち早く掲載されているので確認したり、税務上の不明点を調べたりしています。とにかく、情報不足になるのが一番怖いので、そこを担保できるサービスとして、非常に重宝しています。

WEBサイトは親しみやすさと「動き」に細かく配慮
若い税理士がいない土地柄のため、“2代目”の問い合わせ多数

――集客の取り組みについて可能な範囲で教えてください。どのようなことをされているのでしょうか。

飛び込み営業も含め、とにかく思いつくことは何でもやってきました。特に開業初年度は自宅を事務所にしていましたし、お客様もゼロでしたから。金融機関は防府市内にあるすべての支店に営業して、異業種交流会にもどんどん参加しました。看板広告など、広告も「目立ちすぎでは？」というくらいバンバン出しました。

――営業ツールは何か用意されたのですか？

しっかりしたパンフレットを作成しました。会計事務所は違いがわかりづらいので、とにかく見た目を重視した体裁にしました。妻が広告業界出身なので、IllustratorやPhotoshopを駆使して作ってもらいました。それを持って営業に回りましたね。あとはWEBサイトにも力を入れてきました。

――WEBサイトはオリジナリティがあって目を惹くつくりですね。

ありがとうございます。人を前面に出して、社内や親睦会の様子もアップし、相談しやすい雰囲気を出すことを重視しています。スタッフの趣味や特技などはどうでもいい情報のように見えますが、同じ趣味の人が見れば興味を持ってくださいます。「共通点のある人に頼みたい」というニーズは確実にあるので、そういった親しみやすさを出すコンテンツも用意しています。

あとは「動きのあるWEBサイト」を意識し、新着情報をこまめに更新するようにしてきました。そうしているうちに、少しずつサイトから問い合わせが入ったり、金融機関からご紹介をいただいたりして、徐々にお客様が増えてきました。それからは紹介がメインになってきていますね。

――どのようなお客様が多いのでしょうか。

田舎ですから、私と同じ30代の先生が率いる事務所がありません。40代の先生も少ないのです。ですから、創業者から2代目に事業承継したタイミングや、新たに起業する若い経営者の方からの問い合わせが多いですね。たとえば、WEB関係やインスタグラムなどSNS絡みの仕事をしている人が、昔からいる税理士先生のところへ行ったけれどもインスタグラムが理解できなくて話が噛み合わないとか（笑）。そういうニーズがあるので、WEBサイトからの来客は非常に多いですね。ですから、アクセス数やユニークユーザー数などのデータは随時チェックし、「お客様の声」も積極的に載せるようにしています。

女性スタッフが中心の事務所らしく、親しみやすいエントランス。
ちなみに、緑色の愛くるしいキャラクターは、事務所のゆるキャラ“やまちゃん”。

単なる拡大はせず、業務の質を高めて骨太な事務所に「e-JINZAI」を活用した教育体制の整備を

――最後に、今後の展望をお聞かせください。

もちろん成長をめざしていますが、単に拡大すればいいとは考えていません。先ほど、経営理念は「経営者のベストパートナーになる」だと申し上げましたが、「スタッフが働いて良かったと思える事務所にする」をもうひとつの経営理念として掲げています。その意味では、無理な拡大でスタッフに大変な思いをさせることは望んでいないのです。重要なのは、業務の質を高めて、骨太な事務所にすることだと思っています。

もちろん、そのプロセスである程度の拡大も必要になるでしょうが、私としては10名くらいの事務所が適正だと考えています。そのためには少数精鋭であることが求められますから、採用もまずは経験者を、そしてある程度の規模になったら新卒採用など若い未経験者を対象にしていきたいですね。

――そうなると教育体制の整備も必要になりますね。

おっしゃるとおりです。実は、開業後の初めての採用で大きな失敗をしたのです。若い人を採用したのですが、私が忙しかったこともあって教育ができずに辞めてしまいました。その失敗を繰り返さないためにも、しっかりした教育ができるようにしなければと思っています。これは未経験者だけでなく、経験者に対しても行うべきだと考えていまして、それこそ「e-JINZAI」を上手に活用し、意欲の高い人が自由に学べる環境を整えたいですね。そのうえで、所内研修を充実させるなど、全員がレベルアップをめざし続ける事務所でありたいと考えています。そうすることで業務水準を高め、今よりもお客様から選んでいただける事務所になることが目標です。

やまもと・まさゆき●公認会計士、税理士。1982年山口県防府市生まれ。宇部工業高等専門学校経営情報学科卒業。23歳で公認会計士試験に合格したのち、みすず監査法人、新日本有限責任監査法人（現在のEY新日本有限責任監査法人）、株式会社YKプランニングを経て2015年4月にソルト総合会計事務所を開業。2018年2月には防府市の「ほうふ幸せます 働き方推進企業」に認定された。

事務所概要

株式会社ソルト総合会計事務所

〒747-0034
山口県防府市天神1丁目5-23中村ビル4階-1
TEL：0835-28-7314　FAX：050-3730-8178
URL：https://salt-cpa.com/